

山行報告

1月27日 権現山

小川 弘二

| | | | | |
|-----|--|--|-----|------|
| 山名 | 権現山 | | 山行名 | 例会山行 |
| ルート | 京田辺→平バス停付近駐車場→登山口→アラキ峠→権現山→アラキ峠→登山口→駐車場→京田辺 | | | |
| 山行日 | 2024年1月27日(土) | | 天候 | 曇後晴 |
| 参加者 | リーダー：小川 サブリーダー：木田 メンバー：染矢・徳田・幾田・今村・川上・蒲田・高橋 計9名(男性2名女性7名) | | | |

| | | | | | | |
|------------|--------|-------|-------|------|-------|-------|
| ルート概略図 | コースタイム | | | | | |
| | 地名 | | 時：分 | 地名 | | 時：分 |
| | 京田辺 | 発 | 07：00 | ホッケ山 | 着 | 12：30 |
| | | 着 | | | 発 | 13：00 |
| | ガスト | 着 | | 権現山 | 着 | 13：30 |
| | | 発 | 08：45 | | 発 | |
| | 駐車場 | 着 | 09：00 | 権現山 | 着 | 15：00 |
| 発 | | 09：25 | 発 | | 15：10 | |
| 登山口 | 着 | 09：15 | 駐車場 | 着 | 17：00 | |
| | 発 | 11：30 | | 発 | | |
| 頂上・昼食 | 着 | 12：00 | 京田辺 | 着 | | |
| | 発 | | | 発 | | |

当初は10名の予定が急な用事が入り1名減となり合計9名での山行となった。もう1名参加希望者があったが1名減となるのが分かったのが前夜に付き連絡できず、お許し願いたい。

天気予報では午前中は曇りだが昼頃には晴れ間も見えるという予報であり、実施した。

国道367号線の途中の交差点から花折峠に向い山を登って行くのだが登るに連れて積雪量が増え、同乗者から期待の声が上がる。平バス停の駐車場は数台しか停められず、既に満杯。道幅が広がっている路肩を探し、駐車する。

道路は交通量が多いため、雪はないが一步山側に入ると20~30cm積もっており、そこでアイゼンを装着。15分程歩いたところが登山口。その後、アラキ峠を目指して登りが続くがしっかりと踏み跡があり、アイゼンだけで登ることができた。

権現山は京都や大津に近いが駐車スペースが少ないためか登山者は少ないのかな？ワカンをつけてラッセルしながら登らないとダメかなと考えていたが巾約50cmのしっかりと踏み跡が付いており、時間短縮が図れ助かった。

アラキ峠で休憩を取り、再度登りにかかる。益々、積雪は増え登りもキツクなってきた。

キツイ登りを登り切ると真っ白に雪化粧された展望が開け、雪に覆われた京の北山や皆子山・棧敷ヶ岳やら丹波山脈が一望に見渡せるところであるが、残念ながら曇っていて見えない。

そして直ぐに権現山の頂上に着き、天気が良ければ琵琶湖や東側の山並みの大展望が広がっているが今日はガスっていて薄っすらと琵琶湖大橋が見える程度である。ワカンの練習も必要と考え、全員ワカンを装着。集合写真を撮り、少しだけホッケ山に向った高地で昼食を取る。

その後、ホッケ山に向かうがソリ遊びする適当な場所が見つからない。仕方がないので踏み跡から少し外れた斜面で滑ろうとしたが柔らかな新雪の為、滑れない。そこでワカンでもって雪を踏み固め何とか少しだけ滑ることが出来た。蓬萊山まで行けばソリ遊びに適当な場所があると思うが、今日は此处までとして、下山した。

追伸・山登りは危険と隣合わせだと言われるが、雪山は特に注意が必要である。何故なら冬の天気は不安定な場合が多く、急変することが多い。それ故、事前の天気予報には細心の注意を払い検討することが必要。私は気象庁の天気予報で積雪量を調べ、ウェザーニュースで天気の良し悪しと風速を調べて行くか行かないかを決めています。皆さんはこの天気予報を見て判断されていますか？

ヒヤリハット：なし

一口感想文

川上恭子

人生で初めてワカンを使いました。ペースもゆっくり歩いてくださって、とても楽しく過ごせました。有難うございました。

一口感想文

今村ひとみ

今年初の登山は、権現山での雪山登山。持ち物にワカンとある。軽アイゼンで歩く雪山は何度か行ったが…ワカンとは何者かを調べる。わかった。靴に付けるものだ！が、持ってない。どうしようと悩んでいると、同行者から山友会にレンタルがあるとのメールが届いた。

早速手続きをしてサンルームからお借りした。が、どうやって使うの？それでYouTube先生に教えてもらいながら付けてみる事に。調整に時間がかかったがもう一度つけてみた。成功。

登山当日は数日前に降ったサラサラの雪が積もっていて、白銀の世界で雪遊びを満喫できた。

山頂からの稜線歩きの時にワカンを装着すると、雪深い所でもサクサクと強気に歩けるのが不思議だった

例会で計画して頂けたからこそできた経験。雪の山は静かで美しく楽しかった。

CL、SLさん方のおかげです。ありがとうございました。

一口感想文

幾田邦江

久しぶりの冬山で楽しく雪遊びができた。

ワカンを外すと軽アイゼンのベルトが劣化により切れていた。4年目で切れるなんて思いも寄らなかった。持参のベルトと、CLさんのナイロン紐で軽アイゼンをぐるぐる巻きにし、無事下山できた。

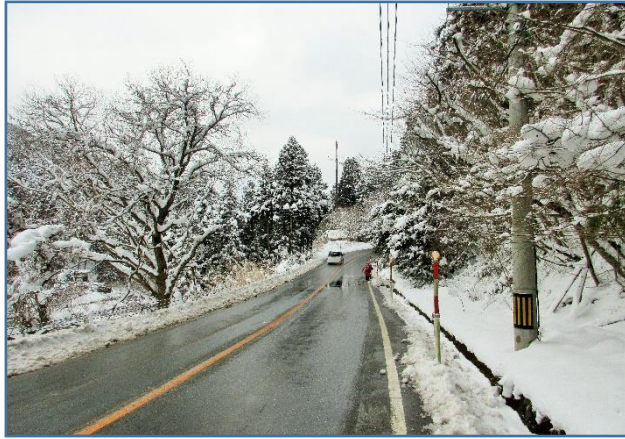
こんな事は想定内なのかCLさんは、落ち着いていらした。頼もしかった。

又と一緒に冬山山行に行けたら良いなあとと思った。

同行の皆様、ありがとうございました。



権現山の頂上にて



花折峠の手前



道路から逸れると雪・雪・雪



最初から最後までピークパーチク



顔を真っ赤にしてガンバッテいます



頂上手前で一休み



お疲れさまでした

